

関中央ロータリークラブ

国際ロータリー第2630地区 東海北陸道グループ



2024～2025 年度 関中央ロータリークラブ 会長テーマ

「奉仕の実践を通じ、求められ、

必要とされるロータリアンに」

例会日：毎週木曜日 18時30分

例会場：関観光ホテル 岐阜県関市池尻 91-2

会長：大藪 太

副会長：土屋 敏幸

幹事：後藤 政之

会報：北原 慎

事務局：岐阜県関市下有知 1655-1 山田ビル 1-D

TEL (0575)24-7332 FAX(0575)23-5278

前例会の記録 第2163回

2024年12月19日(木)

卓話

グローバル補助金奨学生 三代 景湖 様

『グローバル補助金奨学生としての活動報告』

場所 例会場(関観光ホテル)

担当 R財団委員会

本日のプログラム 第2164回例会 2025年1月16日(木)

「夫婦同伴新春例会」 担当：会長、幹事、親睦活動委員会

*国歌「君が代」斉唱

*ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱

*4つのテスト唱和

*会長あいさつ 大藪 太 会長

皆さんこんばんは。本日のお客様を紹介致します。オーストラリア・クイーンズランド大学医学部修士課程 三代景湖様、三代様には後ほど卓話をよろしくお願い致します。さて、12月9日(月)美濃市のいずみ荘において、第2回会長幹事会が開催され、私と後藤幹事で出席してきました。各ロータ



リークラブから活動報告があり、その後会長幹事会、幹事会に参加する際の交通費についての話し合いがあり、開催クラブがバス代を負担するなどの案がありましたが、結局参加クラブの自己負担、つまり現地集合ということで決着しました。また12月14日(土)関市役所市民ホールにおいて10月13日(日)、稲刈り体験事業で収穫したはつもの1人親家庭への配布を行いました。参加された9人の会員の皆様、お疲れ様でした。今年は収穫量が昨年に比べ少ない9俵だったため、1家庭1升、200袋の配布としました。開始時間の9時前から並んでいた人もいましたが、1人親家庭への配布ということ

をよく理解しないまま並んでいた外国人夫妻もいたようで、市役所の職員が事情を説明して、帰ってもらいました。昨年は用意した袋が足りなくなり、追加で袋に詰めただけだったので、今年は午前中に 200 袋配ってしまっただけで終了くらいの思いでいしましたが、開始当初こそ人が並んでいたものの、その後来場者が延びず、結局半分以下の 90 袋しか裁くことが出来ませんでした。市役所の人とも何が原因か考えましたが、忙しい 12 月であったこと、土曜日で仕事がある人が多かったのではないかとこの結論に達し、来年の開催日の設定には検討が必要だと思いました。さて、今年も残すところ 10 日余りとなりました。元旦の能登半島沖地震に始まり、夏の猛暑、能登半島地震被災地での大雨による河川の氾濫や土砂崩れなどの災害など、自然災害の恐ろしさを改めて認識させられる出来事が起こりました。一方パリオリンピック、パラリンピックでの日本選手の活躍や、メジャーリーグでロスアンジェルス・ドジャーズに移籍した大谷翔平選手が史上初の 50 ホームラン、50 盗塁を達成するなど、明るいニュースもありました。いろいろなことがありながらも、もうすぐ正月を迎えるわけですが、正月といえば年賀状がつきものです。2025 年用の年賀はがきの当初の販売数は前年より 25.7%少ない 10 億 7 千万枚。14 年連続の減少で、減り幅は過去最高ということです。14 年前に比べると 3 割程度の発行枚数で、はがき代金が 63 円から 85 円になったことも年賀状離れを加速させた原因だと見られます。年賀状を出す枚数が減った理由には、互いに年賀状のやり取りを自然に終えたり、相手から年賀状じまいのお知らせを受けたりしたことが大きく関係しているようです。また、メールや SNS で気軽に挨拶を済ませる機会が増えたことも理由として考えられます。私自身も年賀状じまいのお知らせを受けることが多くなり、何百枚も年賀状を買っていたことや、足りなくなって郵便局に買いに行っても売り切れだったことが、遠い昔のことに思われます。それでもご無沙汰している人から届く年賀状を元旦に読むのも楽しみのひとつであり、こういった風習がすたれつつあるのも時代の流れとはいえ、少し寂しい気もします。



*各務原ロータリークラブ
松井 雅史 直前会長 より
三代 景湖 様 を
ご紹介いただきました。

*卓 話 グローバル補助金奨学生 三代 景湖 様
テーマ「グローバル補助金奨学生としての活動報告」



私はロータリーのグローバル補助金で大きなサポートを頂き、オーストラリア キーンズランドのブリスベンにある、クィーンズランド大学医学部で勉強と研究をしています。

3 歳からオーストラリアで育ち、中学、高校は女子校に通い、卒業時には名誉賞を頂きました。またこの学校は音楽で有名な学校だったので、私は学力とピアノの演奏で奨学金を頂きました。オーストラリアの国会議事堂でピアノの演奏をしました。大学に入学して、半年程でコロナが始まったため、大学の勉強はオンラインに切り替わり、私は日本に帰国して、大学の学習をしました。オーストラリアのオンライン授業は日本より10年ぐらい進んでいたため、勉強したい者には自由な学習環境で、それによっていくつかの研究や論文発表ができました。2024年にオーストラリア代表として、WHO が主催する大会で、健康の公平性など健康に関する世界的な課題の解決策を提案し、世界1位を取りました。これと同時進行で京都大学医学部大学院に入学して、取れるだけのカリキュラムを取得し、研究に入っていきますが、2023年には京都大学 IPS 研究所の特に遺伝子編集の研究室に所属することになりました。



ここでは世界中の研究者が集まるので、英語で話していました。また山中教授から励ましの言葉を頂き、とても刺激になりました。オーストラリアの大学では、非結核性抗酸菌症の研究をしています。この病気は身近なもので、人から人へ感染がないと思われていたのですが、最近是人から感染する株が見つかっています。治療薬は無く、あっても毒性が強いのが問題です。この呼吸器疾患に関する研究成果を、2024年5月、アメリカの

ATS という国際呼吸器学会に発表しました。この研究論文は世界的に影響の大きい医学誌キャストに発表することができました。私はこの分野で研究を続けていきたいと思っています。オーストラリアの大学の医学部では、卒業するのに7, 8年かかります。授業は朝8時に始まり夜10時に終わることもあり、時間は大変貴重です。移動時間を使ってリラックスすることに努めています。音楽を聴いたり、緑の多いキャンパスを歩いたりしています。オーストラリアではロータリーの方の家に住まわせていただいているおかげで、安心した生活環境とサポートネットワークがあることにとっても感謝しています。皆さんもご存知かと思いますが、オーストラリアは生活費が世界で1番高い国です。外食は控え自炊しています。生活費の足しになるように、大学で講師のアルバイトをしています。私の将来の夢は、IPS 細胞を呼吸器疾患の治療に安全に使用することができることです。



高校卒業

2020: クイーンズランド大学医学部 (学士過程) 入学

2023: 非結核性抗酸菌症の研究

2024: クイーンズランド大学医学部 (修士過程) 入学



京都大学 医学部大学院

2023: 京都大学 iPS細胞研究所

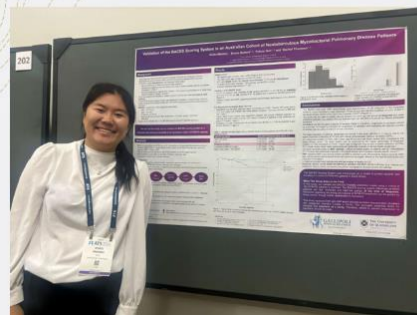


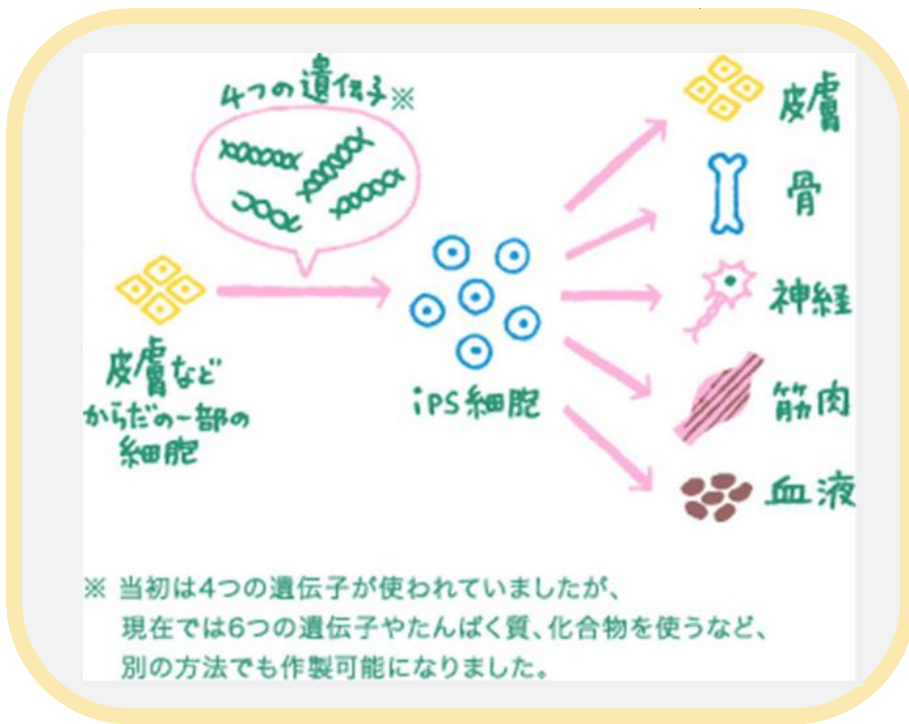
国際呼吸器学会

American Thoracic Society Conference



American Thoracic Society





***出席委員会**

会員数 30 名、本日の出席 16 名です。

***ニコボックス委員会**

各務原 RC 松井 雅史 直前会長

・本日は参加する機会を下さり、誠にありがとうございます。
どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

会長、副会長、幹事

・三代様、松井様、本日は年末のお忙しい中、お越し頂きありがとうございます。卓話宜しくお願ひ致します。

小川 糧司 会員

・皆さん、お久しぶりです。

川村 紳一 会員

・三代 景湖 様、松井 雅史 様、お忙しい中お越し下さりありがとうございます。本日の卓話よろしくお願ひします。

各務原 RC 松井 雅史 直前会長 ほか
16 名のご投函ありがとうございました。

***幹事報告**

『日展名古屋展 2025』のご案内
『バレンタイン コンサート』 //



チケットご希望の方は事務局までお問い合わせ下さい

<次例会の案内>

1 月 23 日(木) 休会

1 月 30 日(木) 卓話 担当:国際奉仕委員会

国際ロータリー第 2630 地区

奉仕プロジェクト部門

国際奉仕委員 小瀧 康裕 様

テーマ

「国際奉仕について

及び 2630 地区の国際奉仕の現状」